

経済指標ウォッチャー

米ISM景況感指数11月 非製造業が過去最高を更新

物価高騰の一因となっていた雇用が改善傾向にあることが示される

ISM景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業・非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国企業の景況感を示す指標のひとつ。製造業が毎月第1営業日、非製造業が毎月第3営業日に公表される。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

非製造業の景況感が過去最高を更新

全米供給管理協会(ISM)が12月1日に発表した、2021年11月の製造業景況感指数は、61.1と10月の60.8から0.3ポイント上昇したものの、事前予想の61.2はわずかに下回りました。一方、3日発表の11月の非製造業景況感指数は事前予想の65.0を大きく上回る69.1と10月の66.7から2.4ポイント上昇し、1997年の統計開始以来の最高を更新しました(図表1)。

新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているものの、ロックダウン（都市封鎖）等の厳しい制限措置が解除され、人の流れが戻りつつあることから、飲食や旅行などのサービス業への需要が増加したことが大きな要因であるとみられます。

業種別では、製造業は18業種中13業種、非製造業は18業種全てで活動の拡大が報告されました。

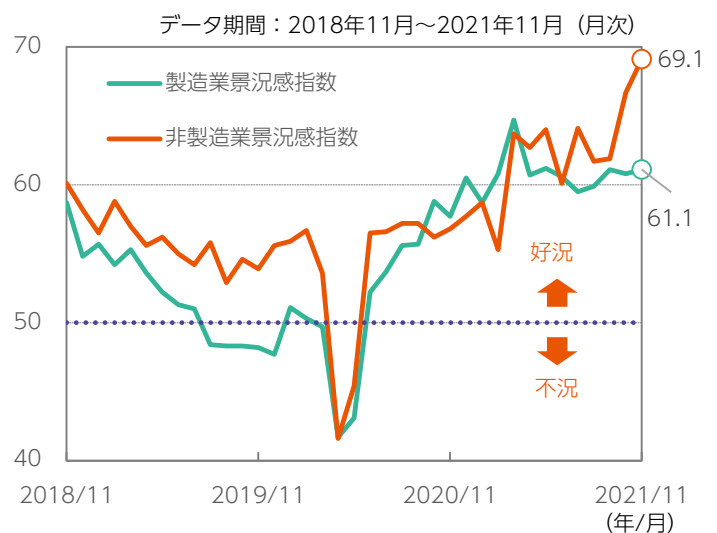
雇用指数が改善傾向を示す

両指数の構成指数のうち、雇用指数が上向き始めています。11月の雇用指数は、製造業が53.3（前月52.0）、非製造業が56.5(前月51.6)となり、両指数ともに好不況の境目とされる50を上回っています。物価高騰の一因となっている人手不足が徐々に解消されつつあるとみられます(図表2)。

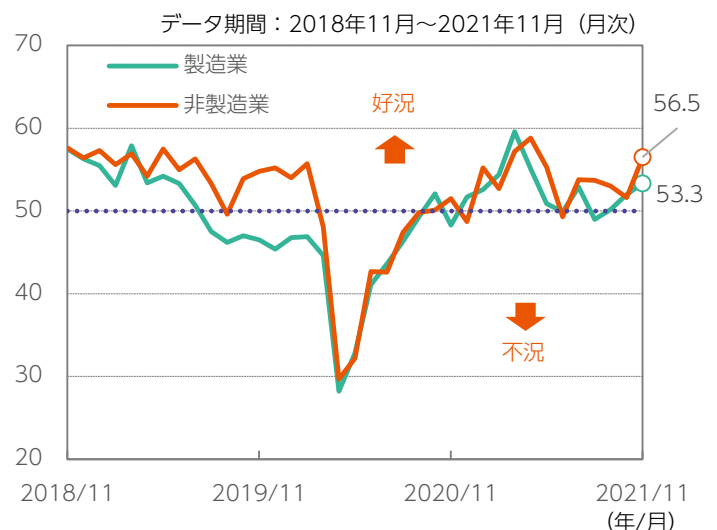
一方、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長は11月30日の上院銀行委員会ですでに繰り返していた物価の高騰は一時的とのFRBの見方を取り下げました。これにより、テーパリング(量的緩和縮小)終了時期や利上げ開始時期が前倒しされることも想定されます。さらに、新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大により供給網の混乱も懸念されます。

経済活動正常化が進みつつあることなどから、企業の景況感改善は続くと思われるものの、物価高騰やオミクロン株の感染状況次第では改善が停滞することも考えられます。

図表1：ISM製造業・非製造業景況感指数の推移



図表2：ISM製造業・非製造業景況感雇用指数の推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>